

# えんちょう通信

No.76

令和 4年 7月19日

福島市立清水幼稚園

発行者 佐藤 一男

## 『いい電に乗って 新幹線見学』



7月8日(金)は、年少組、年長組みんなで「いい電」に乗って、福島駅に新幹線を見に行きました。JR 福島駅の新幹線ホームで、「つばさ」と「やまびこ」が連結する様子も見せてもらいました。子どもたちは大喜びでした。今回も3名の引率ボランティアの方にご協力を頂きました。そのときの感想を書いていただきましたので、紹介します。

- いつも見ている電車でも、なかなか乗る機会がないので、園の行事で乗ることができて、そして友だちと一緒に乗れることで喜びも倍になったと思います。私自身も新幹線の連結を見るのは初めてだったので、いい思い出になりました。子どもたちも心に残る思い出になったと思います。
- 電車に乗るときも、新幹線を見るときも、子どもたちの目がキラキラ輝いていて、新幹線が来ると自然に「ワー」と声が出たり、連結して拍手をしたり、子どもたちの感動が伝わってきて素敵だなと思いました。
- 雨から炎天下という厳しい天候の中、一生懸命に小さい足で歩いて、大人たちの話を聞く園児たちがとてもかわいらしく、愛らしく感じました。
- 子どもそれぞれに、性格や興味・関心のちがいががあるので、歩いていても列を外れてしまう子、ゆっくりな子、気になるものがあると止まってしまう子と様々でしたが、先生方や私たちの声掛けの様子を見て、だんだんと友達同士で「〇〇くん おそいよー。」「〇〇ちゃんのうしろだったー。」と自分たちで気づいて声をかけ合うようになっていって、「たった一日の短い時間の中でも、こんなにも成長するのか!」とても感心しました。
- 私も、初めての引率で、戸惑うことも多く、慌ててばかりでしたが、一番に気づいたことは先生方全員の献身的なお姿でした。保育参観などでは、つい自分の子を見ていることが多かったですし、毎日お会いしていても短時間だったので、実際に先生方が子どもたちに普段どのように接しているのか垣間見ることができ、新鮮でした。こんなにも子どもたちを大切に、一緒に育ててくださっているのだと改めて感謝するきっかけになりました。

実際に引率していただいたことで、子どもたちの素敵な姿と一緒に見ていただくことができ本当に良かったと思っています。そして、こんなにも先生方のことを理解していただき、本当にうれしく思います。引率者として、教師と同じ立場で参加していただくことで、見えてくること、わかっていたこともあるのだなと思いました。これからも保護者の皆様の引率や保育への参加をお願いします。そして保育の喜び、面白さを共有できたらいいなと思っています。保護者の皆様や地域の皆様方のご理解とご協力のおかげで、充実した1学期になりました。ありがとうございました。